

海外需要に対応した11kV級直列多重式高圧インバータを製品化 11kV級 スーパー省エネ高圧インバータを販売開始

当社では生産設備の駆動において省エネルギーに大きな効果を発揮する直列多重式高圧インバータの生産を業界に先がけて実施してきました。

国内需要に対しては3kV、6kV級の電圧に対し、18機種(容量)をシリーズ化してユーザーズにお応えしておりますが、昨今、省エネの動きが全世界的に広がりをみせ、国内需要範囲の拡大に加え、海外での需要が増え、11kV級

への要求が高まってきました。とくに中国では、新設の設備において、11kVの直接入出力が政府より指導されています。

そこで、当社が既に販売し高品質、高信頼性実績によりご好評を得ている3kV、6kV級製品のインバータセルと制御機能・性能をそのまま踏襲した11kVシリーズを製品化し、国外の幅広い省エネドライブに対応・貢献できる環境を整えました。



FSDrive-MV1S 11kV級

製品シリーズ
11kV級 2600kVA 4900kVA 6000kVAの3機種

主な特長

- **11kVの直接受電、直接出力が可能**
11kVの直接受電により、インバータの一次側に設置していた降圧トランスが不要となり効率が向上、また、11kVの直接出力により、11kV級のモータを直接駆動できる。
- **高効率、高効率を実現**
力率95%以上、効率98%以上と高効率変換のため電力使用量が大幅に削減でき、初期導入コストを早期に回収できる。
- **モータサージ電圧レスが可能**
インバータ出力電圧は正弦波であり、既設のケーブル、モータをそのまま流用できるので、設備を容易かつ安価にインバータ駆動に更新することができる。
- **電源高調波対策が不要**
経済産業省資源エネルギー庁の「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」を十分クリアしており、インバータから発生する高調波電流が電源側に悪影響を与えない。
- **省スペース・省配線を実現**
高調波抑制対策フィルタ設備が不要なため、設備がシンプルとなり導入費用の最少化と保守の簡素化が図れる。

主な用途

ファン、ブロウ、ポンプ等の風水力応用機械、押出機、バンバリミキサ等の定トルク用途、コンプレッサ等専用機械、大容量電動機、発電機の起動用、その他

■お問い合わせ先:
システムエンジニアリング事業部
ソリューション&サポートセンター 営業推進課
システム工場 第1技術部(ドライブシステム)
TEL: (0930)25-2279 FAX: (0930)23-2096
<http://www.yaskawa.co.jp/products/system.htm>

オープンネットワークMECHATROLINK-II 対応 サーボ調整が不要なACサーボJUNMAシリーズ 新機種登場

2006年3月新概念製品としてサーボ調整一切不要のパルス指令形のJUNMAシリーズを販売開始し、多くのユーザーに採用をいただき、サーボを簡単に使えるということでご好評をいただいています。今回、サーボのもうひとつの大きな市場要求であるネットワーク対応にもこたえるMECHATROLINK-II対応JUNMAシリーズを販売開始しました。



ACサーボドライブ
[MECHATROLINK-II対応 JUNMAシリーズ]

主な用途

ステッピングモータに比べ、高トルク、高速度、高精度が要求される位置決め用途で、複数軸をネットワークで容易に接続したい場合に最適です。

- ボールねじ、ベルト駆動等を使った汎用装置
- 検査装置、ラベリング装置、包装機、印刷機、繊維機械、彫刻機

■お問い合わせ先:
モーションコントロール事業部
ソリューション&サポートセンター 営業推進課
TEL: (04)2962-5470 FAX: (04)2962-5913
<http://www.yaskawa.co.jp/products/motion.htm>

主な特長

- サーボ調整が不要、マシンコントローラMP2000シリーズとの組合せでセットアップ工数削減
最新のオートチューニング機能により、高い応答性を出すためのサーボ調整作業を一切不要にした。さらにマシンコントローラMP2000シリーズのセルフコンフィグレーション機能によってシステム全体のセットアップ工数を削減できる。
- オープンネットワークMECHATROLINK-II対応により省配線で他の制御機器との接続が簡単
- MECHATROLINK-IIによって制御機能が充実
 - レジストレーション機能: 外部位置決め信号に応じて、あらかじめ設定している指令位置へ位置決めができる。
 - 補間動作機能: MECHATROLINK-II指令で複数軸の同期補間動作が可能。
 - 原点復帰機能: 原点位置減速信号によって機械にあわせた原点設定が可能。
 - モニタ機能: 現在位置、速度、トルク、I/O状態、アラーム内容等のモニタが可能。
- 高トルク、高速、高精度のサーボ性能
同等出力のステッピングモータに比べて、モータ外形は一寸小さいにもかかわらず、最大トルクは定格トルクの3倍、最大速度は4500min⁻¹、分解能8192パルス/回転、電子ギヤ0.01~100の設定が可能。

トピックス

安川ブルックスオートメーション株式会社の設立

米国のBrooks Automation Inc(本社: マサチューセッツ州ケルムスフォード、以下ブルックス社)と半導体搬送ロボット関連事業における提携に関して合意し、日本における両社の半導体関連製品の販売・サービス事業を拡大することを目的として、合弁会社「安川ブルックスオートメーション株式会社(本社: 横浜市、取締役社長: 扇博幸、以下安川ブルックス)」を2006年6月20日に設立し、9月21日を営業開始日として本格稼働を始めました。また、10月13日には安川ブルックス設立披露パーティーを開催し、多数のお客様、代理店様にご臨席を賜り、好スタートを切ることができました。

産業用ロボットの世界的トップ企業でウェハ搬送クリーン

ロボットに強みを持つ安川電機と、真空中でのウェハ搬送ロボットの世界的メーカーであるブルックス社の双方の優れた技術力、生産力およびグローバルサービス網をベースとして、半導体システムにおけるお客様のご要求にスピーディーにお応えしていきます。これにより、顧客満足度と半導体関連製品の売上を向上し、グローバルNo.1へと発展させていきます。



設立披露パーティー風景
(扇社長のご挨拶)

安川ブルックスオートメーション株式会社の概要

会社名	安川ブルックスオートメーション株式会社 (Yaskawa Brooks Automation, Inc.)
本社所在地	横浜市港北区新横浜2-14-2 タヴィンチ新横浜214 5F
営業所・サービスセンター	山梨、名古屋、京都、熊本、大分
代表取締役	社長 扇博幸 副社長 クッシュ・マーチャングニ
設立	2006年6月20日
資本金	4億5千万円
株主	安川電機 50% ブルックス社 50%
従業員	40名
事業内容	半導体ウェハ搬送ロボット関連製品の販売・サービス
売上目標	2008年 200億円(見込み) http://www.yaskawabrooks.co.jp

■お問い合わせ先: 安川ブルックスオートメーション 管理部
TEL: (045)478-7393 FAX: (045)478-7371
<http://www.yaskawabrooks.co.jp/>

取り扱い製品

- ウェハ、リソグラフィック用マスク、ディスク搬送大気・真空ロボット
- 有機EL搬送大気・真空ロボット
- プリアライナ
- ロードボート、SMIF、RFID
- ウェハプロセス用ロードロック、ウェハヒータ&クーリングモジュール
- フロントエンドモジュール、ソータシステム、大気搬送システム、真空搬送システム、リソグラフィーマスクストック
- リニアモータ、サーボモータなど半導体搬送システム関連製品



大気ロボット

真空搬送システム

EFEM

真空ロボット